

全国書店員が選んだ

いちばん！

売りたい本



2010年

# 本屋大賞

全国書店員の投票で選ばれたベスト

10

2008年12月～2009年11月に刊行された日本人作家の小説の中で、書店員自身が自分で読んで、いちばんお勧めしたいと思っただけの作品です。



『天地明察』

沖方丁(角川書店)

2位

『神様のカルテ』

夏川草介(小学館)

3位

『横道世之介』

吉田修一(毎日新聞社)

4位

『神去なあなあ日常』

三浦しをん(徳間書店)

5位

『猫を抱いて象と泳ぐ』

小川洋子(文藝春秋)

6位

『ヘヴン』

川上未映子(講談社)

7位

『船に乗れ！』

藤谷治(ジャイブ)

8位

『植物図鑑』

有川浩(角川書店)

9位

『新参者』

東野圭吾(講談社)

10位

『1Q84』

村上春樹(新潮社)